

広島民報

2019年 12月15日 第2551号
月3回刊 日曜日発行
発行所 広島民報社
〒730-0013 広島市中区八丁堀8-11/電話(082)228-4046
(昭和41年2月19日第三種郵便物認可)
1ヵ月240円(送料126円)/1部80円
郵便振替 01330-2-34778
© 広島民報社 2019年



講演する佐竹事務局次長(右) = 11月16日、広島市

広島県議会決算特別委 逆立ち財政の認定に反対

日本共産党・辻つねお議員

広島県議会で11月22日、決算特別委員会の総括審査があり、日本共産党の辻つねお議員は、子ども施策の拡充費用を出し渋り、大型道路建設に大盤振る舞いをする逆立ち財政だとして、決算認定に反対しました。



子ども医療費助成の対象年齢を現行の就学前から中学3年生まで引き上げるのに必要な費用は約24億円。少人数学級を現行の小学2年生から中学3年生に拡充するのに必要な費用は約22億円で、この二つの施策の合計は約46億円です。

一方、県と広島市が出資する広島高速道路公社(広島市東区)が事業主体の広島高速5号の総事業費は約112.4億円でしたが、二葉

山トンネルの事業費増や高速2号との連結などにより、約147.1億円へと増える見込みです。このままでは県と広島市が合わせて約347億円を気前よく出すこととなります。

子どもに出し渋り

広島県の子どもの医療費助成の対象年齢は15年間、就学前までに据え置かれ、昨年度の決算額16億7300万円の一般会計に占める割合は0.18%で、二葉山トンネルの事業費増をめぐり、20

す。辻議員の質疑で群馬県並みに0.52%へ引き上げれば高校卒業まで拡充できることが分かり、辻議員は段階的に引き上げるよう要望。湯崎英彦知事は「持続可能な制度運用が必要」と従来の答弁を繰り返しました。

また、少人数学級が小学2年生までにとどまっている広島県は、熊本県、大阪府と並んで全国最低。辻議員の要望に対して、平川理恵教育長は「国の措置なしには困難」と拡充に背を向けました。

大型道路は異常事態

二葉山トンネルの事業費増をめぐり、20

NY世界大会に30人代表派遣

県原水協が理事会で確認

広島県原水協は11月16日、広島市内で第101回理事会を開き、ニューヨークで来年4月に開催される世界大会に30人以上の代表を派遣することを確認しました。

日本原水協の佐竹康行事務局次長が「2020年・被爆75年を迎える私たちの運動」と呼びかけました。

0億円で契約した工事費が公社とJVの契約の認識の違いから87億円も増えたことについて辻議員は「異常な事態だ」と批判。「投資の理解は得られない。」

「呉鎮守府」記念事業 市議会議場で海自音楽隊がコンサート

総がかり行動が公開質問

呉市が開催している日本遺産「呉鎮守府」の開庁130周年記念事業について市は11月27日、市役所内で総がかり行動呉地域協議会に説明しました。「アベ政治を許さない」を掲げて戦争法に反対する協議会が11月12日に新原芳明市長と森本茂

樹市議会議長に公開質問状を提出したものの、12月9日には市議会の議場で海上自衛隊呉音楽隊と市立呉高校吹奏楽部の合同演奏によるコンサートを開催する予定で、公開質問状は「歴史の感覚が疑われる愚挙」と批判。1950年の旧軍港市転

換法によって呉市は平和産業港湾都市に転換したのに、旧海軍が開庁した「呉鎮守府」を記念する理由を尋ねています。

市長部局は「呉海軍鎮守府」の開庁で工廠や病院、水道、鉄道など都市基盤が整備され、戦後の地域産業の発展等に繋がったものであり、『負の遺産』と断定することは、必ずしもバランスのとれた認識

にあるか」と質しました。湯崎知事は「事業内容の変更は通常行っており、ご指摘は当たらない」と答えました。

「広島民報」の次号は12月29日付と1月5日付の合併号で、4面仕立てとなります。

先般、職場のパワーハラスメント防止のための指針を厚生労働省がまとめました。その報道で紹介されたパワーハラスメントの該当事例の中に、人格を否定するような発言をする▽長時間にわたる叱責を繰り返す▽他の労働者の面前で大声を出し威圧する▽というのがあります。◆現役時代、まさにこうした言動をして平気な上司がいて悩まされたのは、リーダーに最も必要な資質は品性だということ。品性とは、道徳的基準から見た、その人の性質、人格と辞書にあります◆また、物の本によると品性が感じられる要件として、優雅な立ち居振る舞いもさることながら、他者への思いやりや適度の自制心が大事と書かれています。逆に、目下の人に対する傲慢な態度や、度を越した金銭欲、物欲、権力欲、支配欲などは品性低劣と感ぜさせるともありました◆これを読んだ、はたと思い当たったのは安倍晋三首相と昭恵夫人の振る舞い、そして夫妻に群がる人たちの姿です。「桜を見る会」の問題はその典型。私利私欲に走る権力者を断じて許すわけにはいきません。

西南の風

仁比そうへい 前参院議員



2年前の「隠れ共産党宣言」から今度の「入党宣言」で引つ張りダコの小松泰信岡山大名誉教授と感動と勇気の対談。私も参院選で「あと一歩」の惜敗を確かな足掛かりに「くらしに希望を。3年プロジェクト」を始動し

小松名誉教授との対話

もう逃げるような「桜を見る会」問題。いよいよ窮地に立たされた安倍政権。みんなスクラムを固め、スクラムの仲間をどんどん迎えよう。来るべき総選挙で必ず勝利を勝ち取りましょう。

て初めての再会でした。詳しくは年明けの民報を「期待頂くとし、やっぱり大きな話題になった一つが先の高知県知事選挙です。『ここで一緒に生きよう。誰一人取り残さない県政を』というマツケ(小松けんじさんのメッセージが県民の心を一気にワシづかみにして猛追したのは、西日本全域に通ずる生活と地域の疲弊が切迫した現実だからでした。共産党のマツケンが共同候補として推され、自ら保守と自認する広田一衆議が選対本部長を買って出たこと、安倍政権の最後の一歩一歩前に進んできた野党共闘のいつそうの深まりです。その心張り棒として

備町・ガーベラハウスの再会。私には、西日本17県を共に駆け、安倍政権の最後のとりでからいよいよ政治を変える100万の味方に思えました。

ない「桜を見る会」問題。いよいよ窮地に立たされた安倍政権。みんなスクラムを固め、スクラムの仲間をどんどん迎えよう。来るべき総選挙で必ず勝利を勝ち取りましょう。

ない「桜を見る会」問題。いよいよ窮地に立たされた安倍政権。みんなスクラムを固め、スクラムの仲間をどんどん迎えよう。来るべき総選挙で必ず勝利を勝ち取りましょう。

ない「桜を見る会」問題。いよいよ窮地に立たされた安倍政権。みんなスクラムを固め、スクラムの仲間をどんどん迎えよう。来るべき総選挙で必ず勝利を勝ち取りましょう。